

平成21年度「心の元気」1000人フォーラム

中学校・特別支援学校中学部会


実践発表

平成21年8月11日(火)

最大の努力を、最高の感動を。

尾道市立久保中学校

道徳教育推進体制の充実と
豊かな心をはぐくむ学びの創造



広島県尾道市

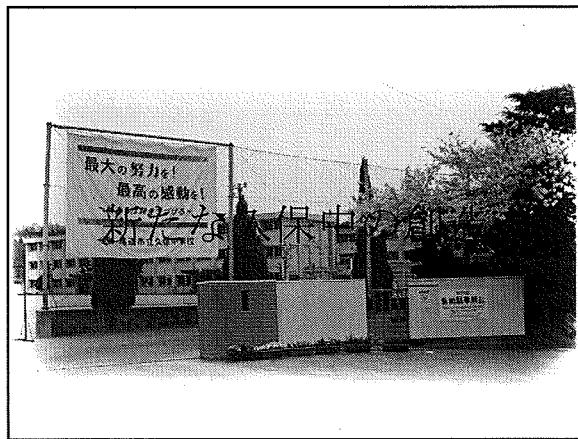
活力あふれ 感性息づく
芸術文化のまち 尾道

個性をみかめ

夢と志を抱く子どもの育成

人とつながり
心とつながる





学校の概要

平成21年度 尾道市立久保中学校学校経営構想

尾道教育さくらプラン2 「夢と志を抱く子どもの育成」

①授業力の向上 ②ふるさと意識の醸成
③不登校への対応の充実 ④教育研究力の向上

◇ミッション：「行きたい学校、行かせたい学校づくり」
◇ビジョン：「感動ある学びの場となる学校」
「努力を惜しまない生徒が巣立つ学校」
「『できる』を体感させることのできる教師が振える学校」

—学校教育目標—
 「確かな学力を身につけ、心豊かでたくましく
主体的に生きる生徒の育成」

—本年度の重点目標—

=めざす生徒像= 「できた」を得意 ようと努力する 生徒 =めざす教師像= 喜びを引き出す 教師	1 ルールの徹底 マナーの向上 2 積極的生徒指導の推進 3 学ぶ場 学ぶ時の充実 4 小中連携の推進の充実、地域連携の推進	=めざす学校像= 「できた」が実 感で響く学校 =めざす授業像= 学び合い 響き合う授業
--	---	---

1 研究の特色 2 実践事例 3 研究の評価 4 今後の方向性

(1) 久保中教育の中核に「道徳教育」を据える理由

学校の実態

- 問題行動の増加
- 不登校生徒数の急増

課題の分析

- 基本的な生活習慣の未確立
- 自尊感情の低下
- 自制心や規範意識の希薄化

積極的生徒指導への転換

生徒の内面に根ざしたよりよい生き方を求める
道徳教育推進の必然性

1 研究の特色 2 実践事例 3 研究の評価 4 今後の方向性

(2) 学校改革の流れ

平成19年度

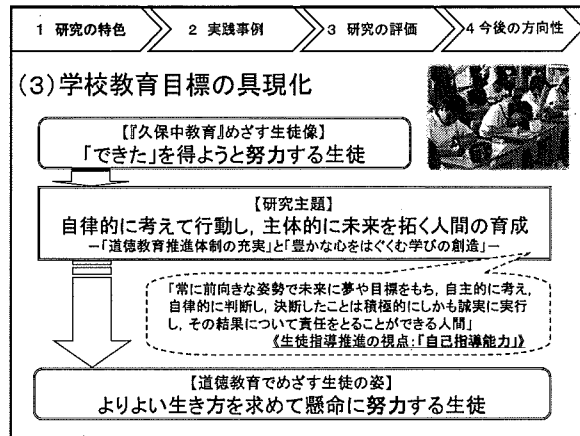
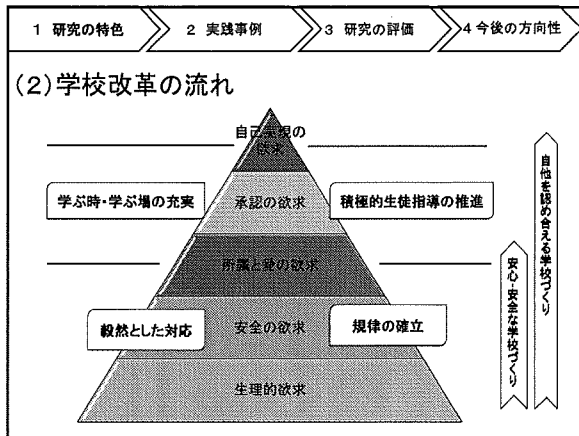
- 問題行動への毅然とした対応
- 不登校生徒の半減
- 授業規律の確立
- 積極的な情報発信と連携

平成20年度

- 問題行動への毅然とした対応
- 学ぶ場、学ぶときの充実
- ルールの徹底マナーの向上
- 小中連携の推進

平成21年度

- ルールの徹底、マナーの向上
- 学ぶ場、学ぶときの充実
- 積極的生徒指導の推進
- 小中・地域連携の充実



1 研究の特色 2 実践事例 3 研究の評価 4 今後の方向性

(1) 道徳教育推進体制の充実

第3章 道徳
第3 指導計画の作成と内容の取り扱い

1 各学校においては、校長の方針の下に、道徳教育の推進を主に担当する教師(以下「道徳教育推進教師」という。)を中心に、全教師が協力して道徳教育を展開するため、次に示すところにより、道徳教育の全体計画と道徳の時間の年間指導計画を作成するものとする。

📖 中学校学習指導要領解説 道徳編 P.64

1 研究の特色 2 実践事例 3 研究の評価 4 今後の方向性

(1) 道徳教育推進体制の充実

道徳教育推進教師として心掛けたい"5つの「気」"

元気 やる気 根気 その気

生徒と教師が共に考え、共に『本気』で探究していく姿勢



1 研究の特色 2 実践事例 3 研究の評価 4 今後の方向性

(1) 道徳教育推進体制の充実

②全教師が協力して創る全体計画

「全体計画」等 作成の手順

- ①教科ごとに、別紙「全体計画」を付箋紙に作成する。(内容・時期・内容項目)
- ②拡大した「全体計画」に付箋紙を貼っていく。(その後、学年ごとに総合的な学習の時間・特別活動の協議。)
- ③「全体計画」(案)の完成。

都民版

修学旅行で特産販売

広島の中学生 総合学習の一環で

25

「おのみちフェア」 R-N(女子)

>「いらっしゃいませ！」「おのみちの物産展です！」という声が聞こえてきました。行ってみると、ピンクの法被を来た友達が想像以上に声を出していたのでビックリしました。はじめは「売れんかも…」などと思いましたが、前のグループの人たちのやる気を見たとき、自信ができました。

>有楽町駅で電車を降りて店にもどると、私たちのグループも、ほとんど皆が声を出してすごかったです。あんなに盛り上がりと思っていなかったし、売れもし皆と違った仕事もできて本当に良い経験をしました。

>「頑張っってね。」「私も尾道の出身です。ここで店をだされると聞いてきました。」と温かく接してくださったお客様、周りで支えてくださった先生方には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

>準備の時、何度もバラつきましたが、「おのみちフェア」で2年生がひとつになれた気がします。

25

「おのみち瑠璃Company」後の変容

修学旅行実施

	1月	2月	3月
授業遅刻者数(人)	109	81	18
平均遅刻者数(人)	6.1	4.1	1.1

この実践は、事前の集団としての行動の仕方の指導とあわせて、道徳の時間を要した各教科等との関連を園った実践により、人間としてよりよい生き方を主体的に実現していこうとする実践となった。

27

1 研究の特色 2 実践事例 3 研究の評価 4 今後の方向性

(1)道徳授業の有効性

◇道徳授業が「楽しい」(生徒)

学年	楽しい(肯定的)	楽しくない(否定的)
平成19年5月	46.5	53.5
平成20年6月	70.1	29.9
平成20年10月	85.3	14.7
平成21年2月	86.4	13.6
平成21年6月	87.2	12.8

◇道徳授業を工夫している(教師)

学年	工夫している(肯定的)	工夫していない(否定的)
平成20年6月	87.5	12.5
平成20年10月	93.8	6.2
平成21年2月	93.8	6.2
平成21年6月	94.7	5.3

28

1 研究の特色 2 実践事例 3 研究の評価 4 今後の方向性

(3)生徒や保護者の変容

「体育大会(色組)は最下位ではありましたが、僕にとって意味のある体育大会だったと思います。しかし、僕の努力などまだまだと思ひ知らされました。それが優勝した緑組団長の涙です。いくら去年より頑張ったと言っても、優勝して涙を流すなど、僕には絶対出来なかったでしょう。

来年には、もちろん見ている人にも、そして自分たち自身が感動できるような体育大会をみんなで作り上げたいです。あの涙にかなうくらいの、すばらしいものを。」

(2年生男子)

29

1 研究の特色 2 実践事例 3 研究の評価 4 今後の方向性

(3)生徒や保護者の変容

○「歌い終わり、拍手で鳥肌が立ちました。その拍手で自分の学校に自信が持て、練習して良かったと思いました。芸術発表会でも合唱があるので、またあの拍手をもらいたいです。」(3年生男子)

○「歌っているとき、みんなの声が後ろから聞こえてきて、安心した嬉しかったです。今までの練習は無駄にはならなかったと思います。」(3年生女子)

30

1 研究の特色 2 実践事例 3 研究の評価 4 今後の方向性

(3) 生徒や保護者の変容

○「(道徳授業の中で)一人ひとりの発言や書いたコメントに対し、必ず返していくという先生の姿、一人ひとりの生徒としっかり向き合っているのが伝わってきました。また、廊下に掲示してある心温まる言葉など、様々なところに先生方の取り組みの様子が見えました。」

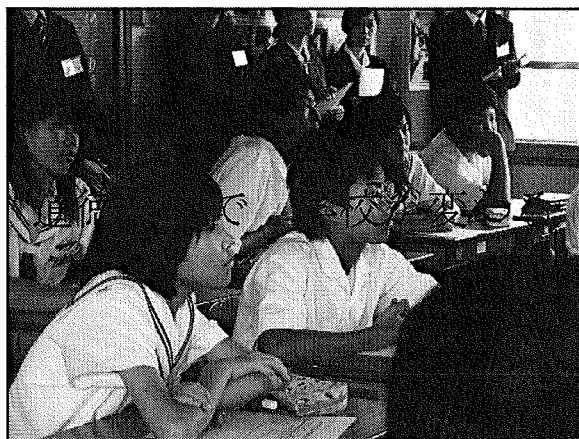
○「久保中は悪いという評判のあるなか、今年我が子を入学させましたが、参観日や各行事の度に「そんなに悪くないじゃない…」「頑張っているな」と感じる事が多かったです。もっと外部の方々に見ていただき、生徒たちと接していただいて、久保中が頑張っている事が伝われば良いのになと思いました。これからの久保中に期待しております。」

1 研究の特色 2 実践事例 3 研究の評価 4 今後の方向性

道徳教育の充実で何がかわるか

<p>子どもが変わる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の内面を深く見つめるようになる。 ・自己のよさに気づき、伸ばそうとする。 ・目標や夢を持つようになる。 ・自己の生き方を深く考えられるようになる。 ・豊かな感性が育まれる。 	<p>先生が変わる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒を理解する力(生徒理解)が深まる。 ・生徒の実態にあった授業ができる。 ・生徒が変わることで、効力感(やりがい)を感じる。 ・信頼関係(絆)が深まる。 ・教育観が変わる。
<p>学校が変わる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○環境が整美され教育活動が活性化する。 ○思いやりのある温かい雰囲気になる。 ○問題行動・不登校が減少する。(道徳教育によるアプローチが積極的な生徒指導としての機能を果たし、問題行動・不登校の未然防止につながる。) 	

心の基礎づくり



平成21年度「心の元気」1000人フォーラム

中学校・特別支援学校 中学部会

実践発表

最大の努力を、最高の感動を。

尾道市立久保中学校

道徳教育推進体制の充実と豊かな心をはぐくむ学びの創造